



夏の森林セラピー

皆さまにとって夏はどんな季節でしょうか？
最近地球温暖化が進み「夏場は外に出たくない」という方も多いと思います。そんな暑い夏にこそ、森林セラピーはおすすめです。

飯南町は標高500m程あり、出雲や広島に比べると比較的涼しく過ごすことができます。それに加えて森では、木の葉が日光を遮り、地中の水分を葉が蒸発させることで気温が下がります。

木陰で川の流れる音を聞きながら、ゆっくりと森を歩く時間はとても心地良いです。この暑さを乗り切るため、ふるさとの森を訪れてみませんか？(杉山)

町民向けセラピーも実施しています。
お問い合わせは飯南町観光協会までどうぞ。

飯南町シャワークライミング

期 7月～8月予定
¥ ショートコース(体験料5,000円)
ロングコース (体験料7,000円)

申込・詳細はコチラ



森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信

飯南町シャワークライミング 2026スタート

今年も飯南町シャワークライミングが始まりました。
シャワークライミングは、川の下流から上流に向かって登ったり、川の流を感じたりと、沢を登ることを楽しむアクティビティです。

体験に必要な装備は全て体験料に含まれているので、特別な準備は必要ありません。

飯南町森林セラピーの中では、「シャワークライミング」を「動」、「森林セラピー」を「静」のセラピーと位置付けています。

シャワークライミングでなくても、川や森などで存分に遊んだ後に受ける森林セラピーも、とても癒されておすすめです。

是非この夏、爽快な川アクティビティをお楽しみください。

短歌

赤名短歌会 六月例会

長ながと気やすく言葉を交わしつつ今更名前を聞くに聞かれず
水利権一億円で決着す両県知事の満願の笑み
み仏に花を手向けしひとときにどっぴりつかるみずゝの世界
断捨離や物はあふれて捗らず古きアルバム捲りたりして
水面に雲と木立を映しつつ植田は鏡のような静けさ
鶴唯ゆうゆうと逃げもせず福田の田んぼ佇みおりし
ど根性マーガレットの花に会うブロック壁の苔の上かな
六月の小雨そぼ降る庭眺めけふの授業の案を巡らす
蛙の子そろそろ中干しはじまるぞ早うカエルにならにゃ干物だ

本間 麗子
澤田 勝登
吉川 暎子
星野 敦子
澤田久美子
清原 豊明
門所 詠子
烏田 勝信
石田 修司



やすらかに

6月届出分

お名前 親族 地区
染矢 又一様 (92) 宇山八重子(上来島)
三島 マツコ様 (92) 浩 (佐見)
飛田 郁雄様 (88) 修 (敷波)
松原 伸子様 (94) 誠 (下来島)
櫻井 秀憲様 (82) 正 成(赤名)
藤原 稔生様 (88) 妹尾由美子(野萱)

今の人権標語

令和7年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

あいさつで 自分も相手も

心ぴかぴか

飯南町中学校1年 丸山 大洋さん

家族名 恵子さん

標語に込められた想いをみんな意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。



●8月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
飯原・志々	1日(土) 8日(土)
赤名	21日(金) 26日(水)
来島	12日(水) 19日(水)

〔クリーン株〕☎72-1401(飯原地域)
〔クリーン株〕☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市
飯南町事務組合
ホームページ



●8月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
町区、敷波(古城・稲荷・田嶺下)	10日(月)	24日(月)	19日(水)
都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田嶺西・田嶺東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・オ谷1・オ谷2)、志津見、角井	12日(水)	25日(火)	
川東、川西(南)	13日(木)	26日(水)	
赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	3日(月)	17日(月)	26日(水)
上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	4日(火)	18日(火)	
上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	5日(水)	19日(水)	

〔いいしクリーンセンター〕☎72-9217

こんにちは中山間地域研究センターです。

サカキ害虫にご用心

●中山間地域研究センター ☎76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



ホームページはこちら

サカキは西日本を中心に分布する常緑樹です。私たちの暮らしの中では、神棚の供え物や神事の玉串として古くから重宝されています。飯南町内でも神社の境内や民家の庭先に植えられており、なじみ深い方が多いかと思ひます。このようなサカキですが、葉の表面を白点が覆う被害が近年問題になっていることをご存知でしょうか(写真1)。

被害を引き起こす犯人はサカキブチヒメヨコバイという昆虫です(写真2)。カメムシの仲間で、サカキの葉裏に潜んで吸汁し、その痕が白点になってサカキの品質を大



写真1 サカキ葉の白点被害



写真2 サカキブチヒメヨコバイのメス成虫

きく損ねてしまいます。成虫の体長は約4ミリと小さく、人が近づくとすぐに飛んで逃げる習性があり、見つけることは至難の業です。2019年に新種として報告されましたが、国内では2000年代初頭からすでに被害があり、島根県でも生産者の間では10年以上前から犯人不明のまま被害だけが認識されていたようです。

今年の3月に当センター敷地内のサカキから成虫が見つかり、島根県内で初めて生息が確認されました。今後は県内における詳細な分布状況と生態の調査を行い、適切な防除方法を検討していきます。